

2014年1月15日

「一般社団法人 木のいえ一番振興協会」

発起人一同

設立趣意書

わが国は世界有数の森林国であり、有史以来、木造の家に暮らすのがごく当たり前でした。明治維新以降は、海外から様々な工法が伝わり、住宅の多様化が進みましたが、昨今では、木材のもつ低炭索性や再生可能性が注目され、地球環境保全の観点からその有用性が再評価されています。

需要者におきましても、住宅購入希望者への各種調査結果をみる限り、木造住宅に住みたいと考える人は過半数を占めています。日本人の心の中にある木や森への憧れや郷愁などに加え、天然資源としての木材のもつ優れた特性が、その背景にあると考えられます。

一方、木造の家、特に無垢材を多用した本来の「木のいえ」は、法令による制約や維持費用の問題から、他の家に比べて必ずしも手に入れやすいとはいいがたいのが実情です。例えば、「木のいえ」の維持管理に関する研究や長期にわたる活用価値の維持、また将来の再販価値の創造など、課題は山積しています。

私たちは、こうした課題の解決を通じて、「木のいえ」に住みたいと希望される多くの方々に、従来の常識に囚われない「木のいえの暮らし」を普及していきたいと考えています。そのために、「木のいえの暮らし」に係わる産学官の関係者が集い、「木のいえ」での豊かで充実した生活の実現をお手伝いする組織として、「木のいえ一番振興協会」を設立しようとするものです。

発起人

大橋好光 東京都市大学 教授
矢田茂樹 横浜国立大学 名誉教授
二木浩三 (株)アールシーコア 代表取締役
鶴澤泰功 日本モーゲージサービス(株) 代表取締役
北出秀樹 (株)北陸リビング社 代表取締役
泉田十太郎 けせんプレカット事業協同組合 専務理事
中島浩一郎 銘建工業(株) 代表取締役
祖父江久好 ネットイーグル(株) 代表取締役
三浦祐成 (株)新建新聞社 代表取締役